

2 ^{にほん がっこう}日本の学校について

(1) ^{きょういくせいど}日本の教育制度

①日本の学校制度

	^{にゅうがくじき} 入学時期	4月	4月	4月	4月		
^{ねんれい} 年齢		4 5 6	7 8 9 10 11 12	13 14 15	16 17 18 19 20 21 22		
学校	ようちえん 幼稚園 ほいくえん (保育園)	小学校 ^{ねんかん} 〔6年間〕			中学校 〔3年間〕	こうとうがっこう 高等学校	だいがく 大学
		^{ぎむきょういく} 義務教育〔9年間〕					

a. 日本の義務教育は6歳になった4月から、15歳の3月までの9年間です。
義務教育の前に、大部分の子どもは幼稚園または保育園に通います。
また、高等学校に進む子どもも97%以上になっています。→P7へ

b. 日本の学校は、国や県や市などが設置する公立学校と、民間が設置する
私立学校の2種類に分かれます。

c. 義務教育の期間中（9年間）、公立の小中学校は授業料をとりませんが、
諸経費（給食費など）が必要です。

公立の幼稚園（保育園）、高等学校、大学は、それぞれ授業料（保育料等）が
必要となります。私立の学校は、授業料が必要となります。

d. 小中学校では、地区ごとに定められた学校に通学することになっています。
※これを「学区（通学区）」といいます。
※特別な事情がない限り、学区の変更はできません。

e. 小学校は、学級担任がほとんどの教科を指導します。

中学校は、教科担任制（教科ごと専門の教員が指導する）をとっています。

しずおかしのしょうちゅうがっこうのいちねん
静岡市の小中学校の1年

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	にゅうがく 入 学 しんきゅう 進 級				なつやす 夏 休 み					ふゆやす 冬 休 み		しんきゅう 進 級 そつぎょう 卒 業	はる 春 休 み
	ぜん 前 期						こう 後 期						

f. 新しい学年は4月に始まり、3月に終わります。

静岡市の小中学校は前期、後期の2学期制をとっています。

途中で夏休みをはさみ、10月中旬 旬までが前期、以後、冬休みをはさんで3月までが後期です。

g. 前期と後期の終わりに、学校から子ども一人一人に「通信表」が渡されます。通信表には、お子さんの学校でのようす（学習の状況、行動のあらわれ）などが記されています。学習の状況は3段階（小学校）、と5段階（中学校）で評価されています。〔P27をみてください。〕

②学校でかかる費用

公立の小中学校は授業料はいりませんが、下のような様々な費用が必要です。

〔必要な費用〕

※小学校・中学校の例です。費用の名前や金額は学校によって違います。

P T A会費…各学校の保護者が中心となって活動する環境整備委員会、健全育成委員会、成人教育委員会などの活動費用などになります。

学年費 …子どもの教材費などに使います。

児童会費（小学校）・生徒会費（中学校）

…子どもたちの委員会活動（緑化委員会、掲示委員会など）の費用などになります。

給食費 …子どもたちが食べる給食の代金です。

学年積み立て費…修学旅行や遠足などの費用を積み立てるためのお金です。

〔集金方法〕

学校によってちがいますが、次の2つの方法のどちらかをとる学校が多いです。

- ・学校指定の銀行口座をつくり、毎月または、3か月や半年に一度引き落とす。
- ・学校指定の日を集金袋にお金を入れ、子どもに持たせる。